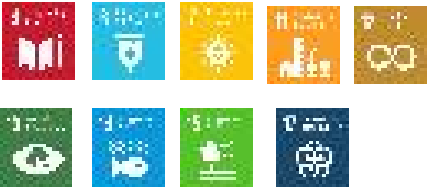


事業の名称等	ねらい	学習者（依頼者）の状況	成果指標
2023 年度環境学習コーディネート事業 	環境学習を受けたい方と、環境学習を提供できる方の橋渡しを行うことで、県民、事業者、NPO、行政、学校等の様々な主体が各々のノウハウ等を活かしあい、環境学習の幅を広げ、より効果的な環境学習ができるようにする。	環境学習ってどうやってやるのか分からない。 講師は誰に頼めばいいのだろう。 どうやれば効果的な環境学習ができるのだろう。	県民、事業者、NPO、行政、学校等の様々な主体が各々のノウハウ等を活かし合い、環境学習の幅を広げ、より効果的な環境学習につなげることができたか。
取組の内容	（コーディネーターの）工夫	学習者（依頼者・講師）の反応	学習の効果&主に育まれる力（取組の効果）
1 環境学習に関する相談・講師の依頼	学校、行政、事業者など依頼者の主体に合わせて、あいち環境学習プラザに相談するメリットを紹介したチラシを作成し、Web ページ等で周知。 過去のコーディネート事例を Web ページに掲載。 あいち環境学習プラザの来所者（社会見学申込者等）へ、コーディネート事業の説明を実施。 	（依頼者） 「緑のカーテン講座の講師を紹介してほしい。」 「ビオトープや水に関する環境学習及び環境学習の進め方のアドバイスをもらえる講師を紹介してほしい。」 「高校生が興味を持てるような内容の環境問題の授業を実施したい。」	どのような講師を紹介してもらえるのか、どのような授業が作れるのか、何をしてもらえるのかイメージしやすくなり、コーディネーターへの相談がしやすくなった。 
2 依頼内容に応じ、講師や施設等を提案	依頼の目的や学習の目標、授業内容の希望等を詳細にヒアリングすることにより、ニーズに合った講師や施設等を複数提案。 コーディネート終了後も依頼者と講師が関係性を保てるよう、コーディネーターが同席して打合せを行うことで早期に信頼関係が構築できるよう配慮。 	（依頼者の反応） 「実験や映像を取り入れたりするなど、分かりやすさや親しみやすさ、飽きさせないための工夫がされていた。」 「児童の今までの学習を踏まえた内容にしていただけたのが良かった。」	コーディネーターの持つ幅広いネットワークから学習内容に適した外部講師や活動場所を選定することができた。 
3 学習日程や学校等の授業の目的に合わせたプログラム等の事前調整	依頼者と講師の双方と連絡を密にし、信頼関係を構築することで、講師が安心して授業に臨めるよう調整。 依頼者に対して、一過性の授業で終わらないように、事前・事後の学習の実施や、他の教科、総合学習との連携について提案。 講師が依頼者の求める内容をプログラムに取り入れることができるように、依頼者からヒアリングした内容を講師に伝えるとともに、より良い授業となるよう、伝えてほしい事や工夫する点も講師に助言。 	（依頼者の反応） 「こちらの都合にあわせて、柔軟にご対応いただいた。学校での今までの学習をふまえた内容の話や、身近な題材でのワークショップで、児童が生き生きと学習に取り組めた。」 （講師の反応） 「依頼者との事前調整で、依頼側の意欲も感じ、やりがいがあった。依頼された講義までの間、学校で行われる授業の流れとジョイントさせることができた。」	事前・事後の学習の実施や他の教科との連携を図ることで、より効果的な環境学習とすることができた。 相談者の希望する学習内容と外部講師の持つプログラムの調整ができた。 事前に依頼者の希望を聞くことで、講師が安心して授業に臨むことができた。 

4 講師を派遣し、環境学習を実施 振り返り、改善提案の実施	コーディネーターが学習当日に立ち会い、講師と共に振り返りを行い、事後学習の提案やプログラム改善の提案を実施。事後学習として、どうしたら学習したことを生活の中で行動につなげられるのか、グループワーク等で話し合う時間を設けるなどの提案を実施。  本物体験  驚き・感動  成果実感	(依頼者の反応) 緑のカーテン及び地球温暖化について関心が芽生え、家庭でも取り組むというやる気が見られるようになった。 (講師の反応) 「先生の全面的な協力体制のおかげで、授業の流れの最後の「まとめ」として講義できて、ありがたかった。また、生徒さんの意識も高く、良かった。」	振り返りにより、事後学習やプログラム改善の提案をすることで、より効果的な環境学習につなげることができた。 
--	--	---	---

■2023 年度環境学習コーディネート事業 ・あいち環境学習プラザに窓口を設け、環境学習の連携・協働に関する相談業務や連携・協働先の紹介・マッチング等のコーディネート業務を実施。	
--	--

学習者の変容	成果と課題
【依頼者へのアンケート結果より】 ・受講者から省エネや緑のカーテンづくりなど、自分にできる地球温暖化対策に取り組みたいといった前向きな声が多く聞かれた。 ・「自分にもできることをしていきたい」と多くの児童が振り返りに書いていた。今後自分が実際にできることを考え、一人ひとり取り組み、それを学習発表会で発表した。 ・ゼロカーボンシティの実現に向けた、市民や事業者が地球温暖化に関心を持ち、自ら防止に向けた取組を行うようになるような、周知、啓発をしていきたい。 【講師へのアンケート結果より】 ・これまでの経験や得意分野を活かせた。 ・子どもたちに温暖化の話を伝えることができやりの良かった。	【成果】 ・受講者が省エネ行動に取り組むようになったという声が聞かれるとともに、依頼者自身も講座を参考に環境学習を継続したいといった声があった。 【課題】 ・県環境局では外部講師による様々な環境学習プログラムが用意されていることから、これらと連携しながら、学習の実施を希望する主体に向けて、本制度の認知度を高めるべく情報発信に努める必要がある。